

# 星の夢百聞

第206号

発行日 2023年4月1日  
発行 株式会社 おいらーく  
札幌市東区東苗穂9条3丁目1-40  
発行人 星野 二三江

株式会社おいらーく

感謝  
を込めて

## 1周年報告

— 2023年度への抱負! —

### 「命輝く」

株式会社おいらーくとして一年。ご利用される皆様に、ご自分の生活にあった穏やかな毎日を通して頂けるよう、お住まい、特定施設、デイ、ヘルパー、清掃活動など、330名の職員と共に進んで参りました。

今年、一年もコロナの波は続き窓越しでの面会制限など、入居者様とご家族との交流が、感染予防対策で出来ない事が、職員にとっても辛い一年でした。来期は、アフターコロナと信じ、外出行事、お祭り、お食事会等々、平常通りに戻って、皆様との時間を充実させてゆきたいと考えています。

来期、職員には、仕事を愛し、仕事に喜びを感じられる育成に力を入れ、ご利用者様に出会えて良かったと言って頂ける会社を作り上げるよう努力してゆきます。1年間、見守り支えてくださり感謝申し上げます。

これからもよろしくお願います。



代表 星野 二三江

おいらーくは、当初日本一の有限会社を目指そうと意気揚々進んでまいりました。

さすがに屋台骨も大きくなり、今度は、日本でオンリーワンの介護事業所を目指す、「おいらーく品真・おいらーくプライド」を掲げて進んでまいります。

一年が経ち、郵便物も株式会社でいただくことも増え、名称の定着を実感しております。ただ、この一年は感染

リスクを考慮し、行動することに躊躇することもありました。ご利用者様、ご家族様のご協力の元、感染は最小限で抑えることができましたが、大変ご心配とご負担をおかけしました。そして多大なるご理解とご支援を賜りましたこと改めて感謝申し上げます。二年目の株式会社おいらーくはしっかりと地に足を付け、ご利用者様に寄り添ってまいります。これまでのおいらーくらしい、老いを楽しむ！活動をお届けできたらと思います。

まず！引き続きどうぞよろしくお願います。



部長 松田 茂男



副代表 小林 朋恵

### 「これでいいのだ」は前の事「これでいいのか？」

新スローガンの実践について日々考える

コロナ禍で、「これでいいのだ」はなく、日々「これでいいのか？」の奮闘でした。5月からの5類への変更は、嬉しくもありますがその倍不安もあります。しかし、マスクを少しでも外す瞬間があれば、利用者様、ご家族、職員間で「あんた誰?」「若いね」「思ったより老けてるね」などと笑い声、笑顔が見れることも楽しみです。1日1回でもマスクのない笑顔を見せましょう！桜もこれから満開が見れます。行事や交流も増えます。「これでいいのか?」から「これでいいのだ」と自信を持ちながら頑張りたいと思います。



感染対策委員 藤田 善子

このスローガンで思い出されることが一つ。介護を始めた20年前、訪問介護で利用者様の家に入っていたころ、魚焼きグリルの火を消し忘れ、帰った娘さんが気が付き事業所に電話をくれました。私の火の元確認が出来ていなかったことが原因で、マンションを焼くところだったので。その報告をもらい、次の日直ぐ謝罪に行きましたが、ご利用者様はご立腹で、結局ヘルパー変更となりました。確認不足が重大な事故につながるところだったので。私は退職を願い出しましたが、その時の所長が、引き留めてくれて今に繋がっています。それを教訓に今でも必ず確認作業は欠かせないものとなっています。「これでいいのだ」は、過信です。そして、そのことが私の介護の礎になっている今日この頃です。



えくぼ 東雁来 白鳥 たか子





新スローガンの実践  
について日々考える

## 「これでいいのだ」は前の事「これでいいのか？」

コロナ禍の状況での事業所運営について考える際、どこかで「コロナだから仕方ない、コロナだからここまでしかできない」というような後ろ向きな気持ちや最初から諦めていた部分があったのではと思いました。この春には世の中のコロナの扱いも変わり、以前のような生活に少しずつ戻っていくと思われれます。銭函デイトレセンターでも今まで行なえなかった活動の再開や皆さまに楽しんでいただけるような活動などを検討しながら、ここに通って良かった、ずっと通いたいと思えるデイサービスを目指していきたいと思います。これからも銭函デイトレセンターをよろしくお願いいたします！



銭函デイトレセンター 横川 将太

リ・ボン開設 12 年になります、職員は変動なく変わらずそのままケアを行っています、いつも思うことは、12 年経つとケア自体も日々進化しそのままではいけない「これでいいのだ」ではなく「これでいいのか？」と考え始めます。今は新しい情報が色々あります、職員一同利用者様にいつもこれでいいのかと、言いつつ進められていけばと思っています。また住宅の食事でも装いを変えいつもとちょっと違う面が出てきて美味しいと言っていただけよう職員とともに努力していきたいと思います。



リ・ボン 山田 智恵子

長いコロナのトンネルの先がやっと見えてきました。3 年近くカフェのイベントもお休みしていましたが今期から認知症カフェの再開、音楽イベントなども企画していきたくと思っています。チーム銭函としてさらなるチーム力アップ、連帯感を強固にしてそれぞれの事業の収益アップを目指すとともに、地域の重要な社会資源として地域に還元できるよう頑張っていきたいと思っています。新しいことへ挑む気持ちをいつまでも忘れないようみんなで一つになって進んでいきたいです。侍 JAPAN のように！！



ケアプラン 銭函 菅原 智絵

定期巡回は手探り状態で毎日が「これでいいのか？」と問い掛ける日々でした。3 年が経過しましたが「これでいいのだ」にはならないよう今後も「これでいいのか？」と考えながら、より良い支援を行っていきたくと思っています。また訪問介護員として改めて初心にかえり、銭函の利用者様が住み慣れた地域で安心して暮らして行けるよう支援に臨んでいきたいと思っています。



サポート ユアライフ 和田 舞

開所し 3 年が経ちました。現在は目標のほぼ満室という状況です。コロナ禍真っ最中の開所という事でこの 3 年間は制限ばかりでした。今年はコロナ禍があけます。出来なかった行事の充実、交流をたくさん実施し入居者様が笑顔で安心して過ごして頂けるよう職員一丸となり、日々の仕事の中で「これでいいのか？」を考えつつ実践できるよう意識し入居者様の満足度を高めていこうと思っています。



CoCo 輝楽 金森 真希

毎日の生活の中で「これでいいのだ」と自分を納得させることは簡単なこと。常に全員で「これでいいのか？」と問い続けもつといろいろな手段があり、もつと変わる事ができ、もつといろいろな出来事を作れるのではないのだろうか問い続け、全ての変事（環境や出会い、出来事など）に遭遇していけるよう変化球で突き進む。そんなときどきわくわくな一年にしていきたいと思っています。



グループホーム 夢 中島 絢子

管理者になって 10 カ月、自分が下した判断で誰かが不幸になっていないか、入居者様とご家族、職員の人生を預かる身として相応しい振る舞いが出来ているのか等々、日々「これでいいのか？」を考えています。それでも、笑顔で関われば笑顔で応えて頂ける。これは間違いのないことなので、一緒に笑顔で「これでいいのだ！」と楽しいことを共有していきたいと思っています♪



せんり 本間 圭介





# 春の 行事報告

看護小規模多機能型居宅介護事業所 えくぼ元町

## ひな祭りとアイスキャンドル

ひな祭りの他にも2月に職員が缶や牛乳パックを使ってアイスキャンドルを作りました！暗くなつてから、建物内の数か所にアイスキャンドルを置き、入居者様に見て頂きました。アイスキャンドルを見た入居者様からは「キレイねー♪」と言われていました。

時間と共に形を変えながら溶けていくアイスキャンドルはとても幻想的で綺麗でした。

職員のアイデアで行事とは別に行いましたが入居者様が楽しんで頂けた様子を見て職員一同とても励みになり、今後も入居者様が楽しんで頂ける何かを提案していきたいと思えます。

(山本 亮太)



いつもと違う幻想的な雰囲気にも…!



立派なひな壇飾りと記念撮影!



好評の三味線演奏会。会場は大盛り上がり!



小規模多機能型居宅介護事業所 えくぼ東雁来  
えくぼ東音楽隊 三味線演奏会

2月の節分行事の二環として行われた「えくぼ東音楽隊」の三味線演奏。ファンの熱い期待にお応えして早くも今年2回目の公演が決定！3月20日、えくぼ東雁来の地に再び舞い降りました。

今回は職員ではなく実際にボランティア活動で地域をまわっている三味線奏者の方をお招きして、前回よりも遥かにグレードアップした三味線が披露されました。

用意された指定席はすべて埋まり、立ち見も出る大盛況！三味線からはじき出される繊細な音色と透き通るような美しい歌声は観客（利用者さん）の心の琴線を刺激します。人気アーティストのライブ会場と変わらぬ一体感と熱狂空間が生み出されました。

利用者さんや職員からも「（三味線を）やってみたい！」という声が続出し、次回はさらにスケールアップ、そしてリニューアルされた「えくぼ東音楽隊」の雄姿が見られそうです。

もしかしたら、三味線奏者と職員、そして利用者さんとの夢のトライアングルコラボが実現するかもしれませんね！（鈴木 健士）

## 祝！Oさん百歳!!

サービス付高齢者向け住宅 COCO 東雁来

Oさんの百歳お誕生日会を3月2日、併設デイサービスセンター、生きがいサロン東雁来で行いました。開催に当たり、ご家族をお呼びする計画を立て、厨房よりいつもと違う誕生日メニュー、ヘルパーステーションリボンより、記念品、豊生会より、表彰状及び記念品贈呈と、盛りだくさんの内容となりました。ご本人当日、ご自身で着付けをされ、颯爽とデイサービスに向かわれました。

相談員の司会により始まった誕生日会は、歌の贈り物やご家族からOさんへのお祝いの言葉、記念品贈答を付きの誕生会の開催と、ご本人も感極まってしまいう程。ご家族も喜んでいただける会になったと思います。ご協力頂きました皆様、ありがとうございます。Oさん、いつまでもお元気でいてください!



Happy Birthday

祝百

Oさん、いつまでもお元気でいてください!





新スローガンの実践  
について日々考える

## 「これでいいのだ」は前の事「これでいいのか？」

コロナ感染症の分類も変更されることが決まり、入居者様及び家族様への不自由さの軽減となる光が見え始めました。今期うらら伏古事業所方針：「変わることをためらうな!! あなたが変わればすべてが変わる!!」を毎日の職員唱和にて実施に向け取り組んできました。2度のコロナ感染症クラスター発生の際には、関係者の皆様には多大なご不安とご迷惑をお掛け致しました。その際の職員の経験と学び、皆様のご協力のもと、その後の大きな発生事例もなく入居者様も元気に過ごされている事にほっと安心しております。事業所は年々、加齢と共に症状の重度化が見られる傾向にありますが、来期は、日々の身体状況の管理に加え、レクリエーション活動の活性化、個別ケアに力を注ぎ、入居者様の生活の質向上に努めていきたいと思っております。



うらら伏古 広部 毅

「これでいいのだ」、このフレーズは良く耳にする事と思います。全てをやり切り、目標に達成した時も「これでいいのだ」とつぶやき満足する。しかし、まだ道半ばでも「これでいいのだ」と妥協する事も私自身あります。「コロナ」を言い訳にしてきた3年間は、前向きな事は考えられず、妥協の「これでいいのだ」でした。しかし、もう言い訳はしません。失った3年間を取り戻すため、「これでいいのか？」と日々自身に問いかけ、利用者様と共に、楽しい日々を過ごせるよう進んでまいります。皆様、宜しくお願い致します。



CoCo元町 高橋 雅博

毎年思うのですが、月に1回、3カ月に1回、半年に1回、年に1回など、定期的定型的な業務の繰り返して、月日が過ぎる速さが増しています。ここ数年はさらに、コロナ禍の特殊環境で、何がいいのか軸が動いていたように感じます。今年度はアフターコロナで規制がどんどん解放され、反動の特需がありそうですが、冷静に判断し、大切なことは幅を広げてやり続け、やめてしまった伝統の継続も取り戻す覚悟で進んでいきたいと思っております。少しでも皆様のお役に立てるようにがんばりますので今後ともよろしくお願い申し上げます。



総務人事 尾川 真一

今まで当たり前に行ってきたことを、これでいいのか？と考えることもなく日常を過ごしてきました。一人一人が、これでいいのか？と思っている事が、全体に発信でき、皆で考え、改革に繋げることができる風通しの良い職場にしていきたいと思っております。今年度は、利用者様・ご家族様・地域へのレクリエーションも企画しています。「職員一同 笑顔でやって良かった!」と振り返ることができるような誇れるえくぼ元町を目指していきます。



えくぼ元町 富所 次代

えくぼではこれまで行ってきた事、決めてきた事など事業所として取り組んできました。もちろん今までの選択が無駄であったとは思いません。しかし固定概念として定着してしまっている事もあると思っております。今期は固定概念を壊しつつ『新たなえくぼ』を確立するために日々、『これでいいのか?』と考えつつ、事業所、職員共に成長していければと思っております。今期もえくぼをよろしくお願い致します!!



えくぼ 佐々木 浩二

私が介護の世界に入った18年前と比べて介護業界も大きく変化したと思います。その中でも大きな違いは、当時では考えもしなかった、介護ロボットや人工知能を駆使したAIを活用した介護など、時代は進化しているなど改めて思います。今、私たちが日常的に提供している介護サービスも20年後には形を変えているかもしれません。スローガンにもあります「これでいいのだは前の事、これでいいのか?」を日々考える!の通りに、サービスについて今までの固定概念を捨てて時代のニーズを捉え、日々の仕事に常に疑問を持ちながら創意工夫していきたいと思っております。



てんやわんや新道 今田 克也

CoCo 東雁来に異動し1年余経ちました。もともとコロナ禍状況下でしたので、CoCo 東雁来の通常が何なのか、分からないまま日々の業務に追われている状態です。今までは面会や外出などに大きな制限がかかっていました。ご家族の皆様などにも大変なご不便をお掛けしている状況です。ゴールデンウィークが明けた折にはコロナも5類、季節性インフルエンザと同等になります。今までの状況から変わるの間違いありません。その変化への対応を「これでいいのか?」今までのままでいいのか?と常に問いながら業務にあたりたいと思っております。



CoCo東雁来 鈴木 直文





新スローガンの実践  
について日々考える

## 「これでいいのだ」は前の事「これでいいのか？」

今年度はおいらーくらしい明るさと元気さを展開できる年にします。3年にもわたるコロナ禍を乗り越える取り組みをしている間に、バス旅行やお花見、紅葉狩りなどの季節の行事、お誕生日会やお楽しみ会など、住宅やデイサービスを利用してるからこそその醍醐味が一つずつ減っていきました。5月に五類になるのを楽しみに各事業所は何をしてご利用者に喜んでいただけるか一生懸命計画を練っているところです。私のモットーはお一人でいらっしゃる利用者様をほっとけないことです。もちろん自分一人ですることは限られています。なので、ご利用者様のニーズを感じとれる、感じ取ったら活動に展開できるスタッフ、事業所を育て、創り上げていくことが私の大きな目標です。皆さんがおいらーくにいてよかった、おいらーくと出会えてよかったと思ってほしいのです。今年も現場の中で、スタッフとともに苦しみも喜びも分かち合い、大きな目標に向かって進んでまいります。今よりももっと、明るさと元気のあるおいらーくにしてまいります。



顧問 寺本 壽美子

食事を作るに際し、私は若いころから諸先輩の方々に、「調理に終着点は無い」と教えられてきました。おいらーくでも過去、肉の調理法や献立の構成などの見直しを勧めてまいりました。来期もこの姿勢を変えることなく、皆様の満足度向上に繋がる様、努力したいと思います。お楽しみメニュー等、来期に向けて現在考案中です。



配食事業部 栗林 実

これまではある程度の妥協で、自分で納得していた部分があったようにも思います。自分の苦手な部分からも、もっともっと「これでいいのか？」と奮起し、行動を起こせるように変わっていきたく頑張りたいと思います。バカボンのパパのように朗らかに、他の人に笑顔を分けてあげられるよう毎日笑顔で利用者様や職員にも接していきたいです！



生きがいサロン 東庵来 福本 美紀

「これでいいのか？」と今の自分に問うことが今までこれだけできていたかを考えたときに、あまりできていないように思います。「これくらいでいいか」と現状に甘んじている気もします。今の自分の考えや行動に問いかけ、今できている事に対して、もう少し効率よくできないだろうか？もう少し楽しく仕事はできないだろうか？等と日々、自問自答しながら向き合っていく、今ある常識にとらわれすぎずに一つの事に対して10通り・100通りの考えができるよう、輝いて仕事ができる人間になれるよう取り組んでいきます。



Lpasa 小原 諭

業務に追われ、ルーティーンのように日常を繰り返していると不具合や問題を見落とし、そのままになってしまうことが沢山あります。『慣れ』なのか、繰り返しているうちに『鈍化』しているのか…。今年度のスローガンをもとに、自分達の現状に自問自答することから始めてみようと思います。現状に満足するのではなく、「この取り組み方でいいのか？」「このケアプランで良いのか？」などと常に現状を分析しながら仕事をしていきたいです。「これでいいのだ！」と期限内にタスクを終える効率だけを考えがちな現状を変えていこうと思います。



フォルテンキ 近正 朋子

小さな不安や気がかりな事が心のどこかで引っかかっていたりすると、そのモヤモヤにストレスを感じたり、次第に不安が大きくなったり簡単には解決できなくなったりしてしまいます。「まあいいか」と思わず小さなことでも直ぐに解決・解消していくよう心掛けたいと思います。また、アフターコロナという時代に突入していきますが、ここ数年で大きく変わってしまった常識を改めて考え直して、これまでの様々な制約から抜け出しながら、利用者様の支援に努めていきたいです。



えくぼ 東庵来 大場 紬太

利用者様にはてんやわんや東苗穂に来ていただいた時は楽しんで帰っていただきたいと思日々対応させていただいていますが、ついついいつも同じ対応になり「これでいいのだ！」となってしまうがちです。今はいろんなところで急激な変化があり、コロナも5類になり対応が変わっていきます。デイの中でも日々変化があります。本当に「これでいいのか？」今日は皆さんが元気で楽しんでいるのかアンテナを張りながら考え、笑顔が大きくなるよう実施していきたいと思います。



てんやわんや 東苗穂 小野寺 美奈子



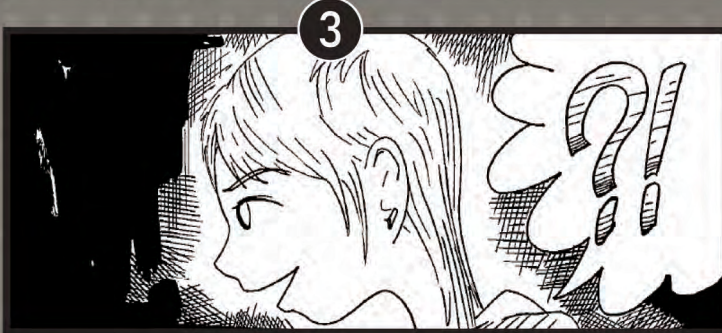
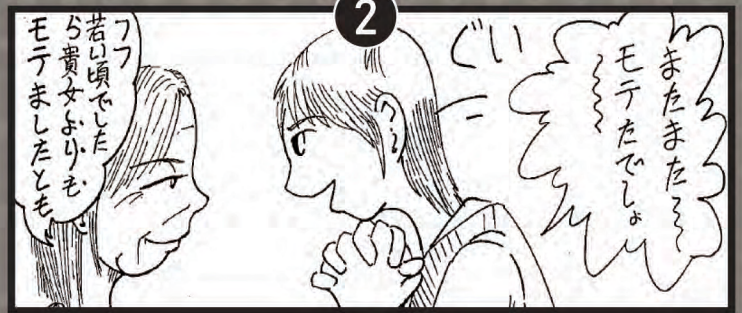
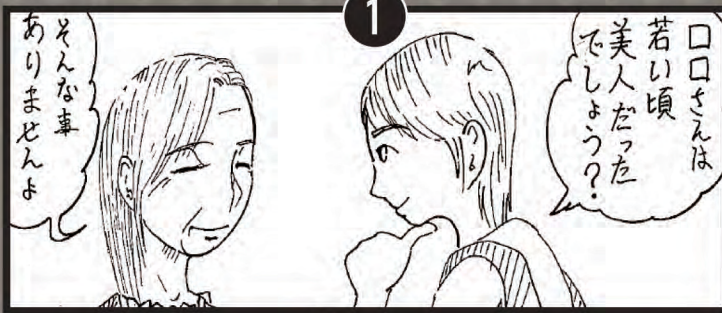


# なべっちゃんの

## 4コマ

# 介護日記

### NO.22



## 第91弾

# ドラムす子でバチ当たり人間のよもやま話



2023 WBC閉幕。栗山監督率いる侍ジャパンは初戦の中国に勝利。大谷翔平が二刀流で大活躍。第2戦は宿敵韓国を相手に勝利。ダルビッシュが先制されるも打線が奮起し大逆転した。第3戦はチェコに勝利。12年前のこの日起きた東日本大震災で家族を失った佐々木朗希が好投。第4戦はオーストラリアに勝利し4連勝。この試合では大谷に今大会初ホームランが生まれる。いずれの試合も圧倒的点数で勝ち抜き、リーグ戦グループBを日本は首位で通過する。

迎えたトーナメント戦では準々決勝のイタリア戦に勝利しこれで5連勝。岡本和真が5打点の活躍。準決勝ではメキシコ相手に苦戦したが、9回裏それまで不振にあえいだ村神さまのサヨナラタイムリーで劇的勝利をおさめ6連勝。先行され追いついても引き離される苦しいゲーム展開に日本が負けてしまうと思った方も多かったはずだ。

この試合のクライマックスは私が輝楽厨房にてごはんにカレーをよそっている時に訪れた。食堂のテレビ中継が見えるのだ。緊迫した状況が気になって仕方が無い。手が止まってしまった私を見るに見かね、とうか配膳の遅れを防ぐためホーム長がカレーを担当して下さった。そして歓喜のサヨナラ勝ちを見ることができた。ありがとうございます。この試合のヒーローはもちろん逆転打を放った村上宗隆だが、途中の同点ホームランを含め吉田正尚が大きな仕事をしてこのサヨナラ劇を呼び込んだのだらうと思う。

そしてついに強豪アメリカとの決勝戦を迎えた。2回いきなりホームランで先制されるも前日サヨナラヒットで覚醒した村上がその裏すぐに同点となる今大会初の特ダホームランを放つ。その後ヌートバーの内野ゴロや岡本のソロホームランで2点差とするものの、救援のダルビッシュが被弾し1点差。最終回この最大の局面で大谷が登場。目の覚めるような速球で最後の強打者を三振に打ち取りゲームセット。両チームとも出てくるピッチャーが皆素晴らしいなかな数少ないチャンスを生かした侍ジャパンの勝利となったが、3-2とまさにヒリヒリする引き締まった良い試合だった。史上最強チームとの呼び声も高い今回の侍ジャパン。結局7連勝という輝かしい記録で優勝した。それにしても大谷は役者が違う。異次元のヒーローだ。当然だが彼は今大会のMVP最優秀選手に選ばれている。

ところで一緒にテレビ観戦していた妻が聞いてきた。このヌートバーって誰? 「ヌートバー」じゃなくて「ヌートバー」だから。ススキノ歌舞伎町にでも行けばそんな店もあるだろうが大きな間違いだ。本人も気を悪くするだろう。妻は間違えて覚えた名前が多くあるように思う。「粉雪」を演奏していたバンド「ロミオロメン」のことを「ロミオメロン」と思っていたらしい。ロミオさんが作った新種のメロンかい。六花亭の銘菓「マルセイバターサンド」のことは「マルセイユバターサンド」と勘違いしていた。フランスの港町で製造されたんかい。秋葉原「あきはばら」のことを「あきばはら」と言う。そう読めなくはないが...とほほ。話がそれだが祝優勝! 栗山監督お疲れ様! 侍ジャパン最高! (蓮川享士)



# 人間万事塞翁が馬

Sさんは昭和2年生まれの97歳になります。朝鮮の京城（現：韓国のソウル）で次女（姉、弟の3人姉弟）として生まれました。Sさんのお父様は朝鮮銀行の東京支店で勤めていましたが、奥様と結婚後以前から希望していた朝鮮の京城支店に移動しました。Sさん（1歳2か月）が生まれ間もなくお母様が他界し、その後祖母に大切に育てられたそうです。そして、小学6年生（11歳）の時にお父様も他界したため、両親の故郷でもある東京に帰国。女学校に通っていた2年生の時戦争が始まり、Sさんも通信機のコルク巻きをする工場に連れて行かれ働かされました。

終戦の前の年に、家族と北海道札幌に疎開した所でご主人と知り合い、昭和21年結婚（親戚が決めていた）。3人の男の子に恵まれ、祖父母とお手伝いさんが居たため余り苦勞と思わず3兄弟の子育てをしていたそうです。専業主婦だったため、習字・絵手紙・お花の習い事をしましたが、特にお花は教授資格を取得した程の腕前です。

特に好きな歌手は居ませんが、映画館での催し物で歌手が来た時はご主人とよく観に行き、ご主人の退職した後は、2



似顔絵作：松田 郁美

人で映画鑑賞と旅行を楽しみ、旅行は四国を除いて全国を観光しました。

ご主人が13年前に他界した後は、孫さんといちご狩りや桜見物をし、お孫さんに合える事を楽しみに過ごしていたそうです。「今はひ孫が5人いるの」と、満面の笑みで話された表情に、戦争を除いて、幸せな人生を物語っているように私の目に映りました。

声が悪いので昔からご自身で歌う事も余りなく、歌そのものにも興味がなかったと話しつつもお話を伺って行くと、石川さゆりの「津軽海峡冬景色」を聴くと、戦時疎開の為に札幌に来た時、青森から函館に青函連絡船に乗って津軽海峡を渡った事をこの歌を聴くたびに思い出すと話されていました。（伊藤 典子）



## 「これでいいのだ」は前の事「これでいいのか？」

新スローガンの実践について日々考える

利用者さんとの関わりを持つ中で「これで良いのかな？」と日々自問自答しておりますが、その答えはいつも利用者さんが教えてくれています。デイサービスでは、生活の中で出来なくなってきた事や躓くようになってきた事を見つけ、改善できるようにお力添えしています。ご利用当初は車椅子だった方が、伝い歩きや布団の上げ下げまで出来るようになった等、様々な喜びのお話を耳にした時に「これで良かったんだ！」と実感します。てんやわんや本町では機能の回復はもちろん、それ以上に生活の質の回復を目指した取り組みを実施しております。これからも「これでいいのか」と自分に問いかけながら、皆さんのお役に立てるように努力して行きたいと思っております。



てんやわんや本町 柴田 直彦

最近デイサービスでリハビリの内容を考えるために本などを読むことが多いのですが、以前と解釈が変わっていたり、方法そのものが大きく変わっていることが多々あり勉強不足を痛感することが増えています。スローガンの通り、日々変わっていく常識に追いつき、追い越せるよう、「これでいいのか？」を常に胸に問いかけ、常に新しいデイサービスで皆様をお迎え出来るよう頑張ります。



てんやわんや北31条 日渡 誠一郎



おいらーく

# 3月行事内容と4月行事予定

## 令和5年4月行事予定

## 令和5年3月行事内容とイベント風景

令和5年 4月行事予定

令和5年 3月行事内容とイベント風景

せんり  
○桜を見にいこう！

うらら伏古  
○桜の花を咲かせよう!!

えくぼ東雁来&ココ東雁来式番館  
○とくしまる（移動販売）  
○金さん銀さん（訪問理容）

えくぼ元町&ココ元町  
○28日 さくらの木を作ろう

えくぼ&ココ元町式番館  
○家庭菜園(草むしり)

銭函お散歩カフェ  
○2日 出張カフェIN輝楽  
○8日・15日 趣味の会  
○毎週 月、土 将棋教室

ココ輝楽  
○出張カフェ  
○衣料販売(さいじょう)  
○誕生会  
○訪問理容

○ひな祭り  
○レコード鑑賞



○15日 「お雛様になろう」



○とくしまる（移動販売）  
○金さん銀さん（訪問理容）  
○ひな祭り（桜ケーキ）  
○三味線鑑賞会、民謡鑑賞



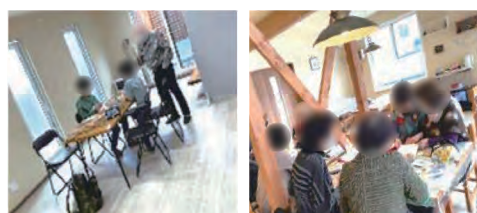
○3日 ひな祭り(行事報告参照)



○3日ひな祭り ○23日わんにゃんフェス



○4日・18日 趣味の会  
○毎週月、土 将棋教室



○ひな祭り  
○誕生会



## 経営方針

『高齢者も障害者も住み慣れた地域で、安心して暮らせる地域づくり』を目指し、つねに『ご利用者様の立場にたった総合的な介護・福祉企業』のあるべき姿を探究し続けるオンリーワン企業を目指します。